

下水道事業 受益者負担金の賦課徴収区域が拡大されます

問合せ先 市役所上下水道グループ
☎52-1111(内線291・292)

市では、都市基盤の整備として、平成3年度から公共下水道工事に着手し、平成25年4月1日使用開始区域を含め約432haの区域で下水道が使用できるようになります。

受益者負担金とは

下水道を整備するには多額の費用が必要です。道路や公園などのように、だれもが利用できる施設と違い、下水道のように特定の方だけが利用できる施設の建設費を税のみでまかなうとすると、利益を受けない方にも同じ負担をしていただことになり、公平性を欠くことになります。

そこで、下水道の整備により利益を受ける方に建設費の一部を負担していただくのが受益者負担金です。

負担金を納めていただく方

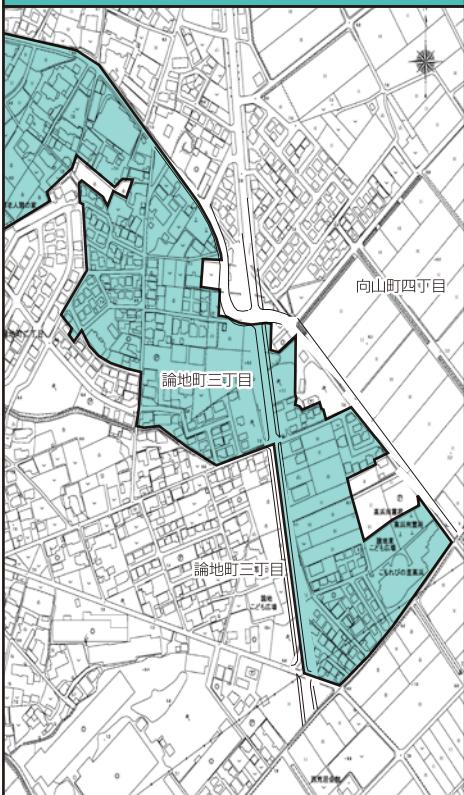
今年度、公告された賦課対象区域内に土地を所有している方です。その土地に地上権、質権、または使用貸借もしくは賃貸借による権利がある場合は、その権利者が受益者となる場合もあります。

負担金の対象となる土地

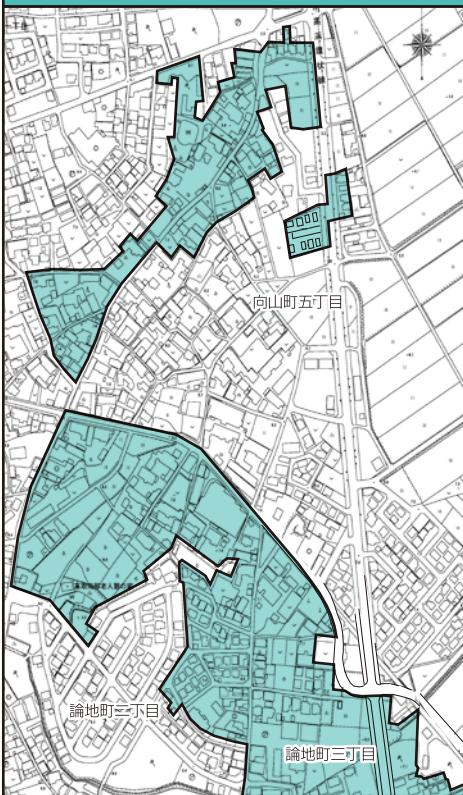
今年度、公告された賦課対象区域内（下水道整備区域内）にある宅地、雑種地、田畠などすべての土地が対象となります。

なお、この負担金は固定資産税などとは異なり、毎年賦課される

論地町二丁目の一部 論地町三丁目の一部



向山町五丁目の一部 向山町六丁目の一部



賦課対象区域 (地図参照)

平成25年度に賦課対象となる区域は次のとおりです。

ものではなく、その土地に対しても
一度かぎりのものです。

向山町五丁目の一部
向山町六丁目の一部
諭地町二丁目の一
諭地町三丁目の一
部

